

No.24 快適な生活環境の整備＜水道＞ （建設課）

令和5年度までにめざす姿

有収率の向上による水道水の安定供給と施設維持管理の安定化を図るとともに、污水处理施設の計画的な修繕による延命化を図ります。

令和元年度にめざした成果

- ① 上水道の有収率（H30実績）88.1%
- ②-1 污水处理の汚泥減容率（H30実績）西伯地区2処理場28%、会見浄化センター30%、公共下水処理場17%
- ②-2 污水处理水の水質指標BOD
（基準値）公共下水道15mg/ℓ以下、農業集落排水20mg/ℓ以下
（H30実績）公共下水道1.4mg/ℓ、農業集落排水5.0mg/ℓ

令和元年度にめざした活動

- ① 上水道のアセットマネジメント（長寿命化計画）や経営戦略を策定し、計画に基づいた施設更新を実施します。
- ② 污水处理のストックマネジメント計画（更新計画）の策定や事業計画の見直しを行い、修繕費用の平準化と軽減を図ります。

令和元年度の成果

- ① 有収率は、ほぼ現状維持ができています。本管の漏水調査により幹線管路の漏水修理を実施しています。
- ② 汚泥減容率も水質指標も、ほぼ現状維持ができています。

令和元年度の問題

- ① 上水道の施設整備は、投資と効果の関係上、町のゾーニング計画との連携が必要となっています。

令和2年度以降の方策

（1）達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ① 上水道施設は、老朽管路の更新工事を計画的に実施します。

（2）解決すべき問題への方策

- ① 上水道の施設整備は、投資と効果の関係上、町のゾーニング計画との連携が必要となっています。

（3）新たに取り組む方策

- ① 災害時にも安定的に水道水を供給できる水道施設を目指し、新水源の調査を再開します。H29年度の田住地区での調査は、水質不良により休止しました。候補地の選定からやり直しを行います。